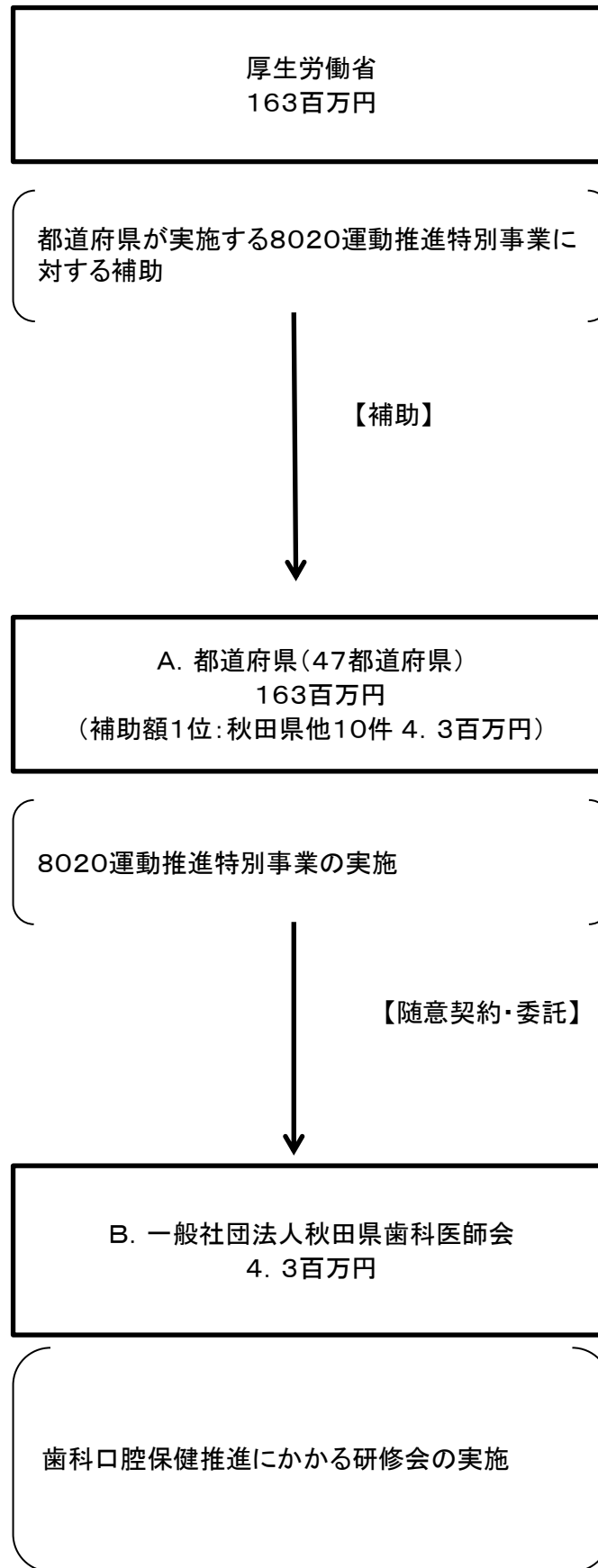


平成27年度行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	8020運動推進特別事業			担当部局	医政局		作成責任者	
事業開始年度	平成12年度	事業終了 (予定)年度	平成26年度	担当課室	歯科保健課		課長：鳥山 佳則	
会計区分	一般会計			政策・施策名	I-1-1 日常生活圏の中で良質かつ適切な医療が効率的に提供できる体制を整備すること			
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-			関係する計画、 通知等	平成15年4月4日医政発第0404001号「歯科保健医療対策事業の実施について」			
主要政策・施策				主要経費	社会保障			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	80歳になっても自分の歯を20本以上保つことを目標とした「8020運動」を推進するため、歯科疾患予防等歯の健康の保持の推進に資する事業を行うとともに、歯科保健事業の円滑な推進体制の整備を図る。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	8020を達成するために都道府県が地域の事情に応じて行う歯科保健事業に対する財政支援を行う。 対象経費：賃金、報償費、旅費、需用費等 補助率：定額 ※平成27年度より口腔保健推進事業(事業番号0024)に統合。							
実施方法	補助							
予算額・ 執行額 (単位：百万円)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	250億円の内数	227億円の内数	151億円の内数	-	-	
		補正予算	-	-	-	-	-	
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-	
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-	
		予備費等	-	-	-	-	-	
	計	0	0	0	0	0		
	執行額	196	173	163				
執行率 (%)	-	-	-					
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 34 年度
	80歳で20本以上の歯を有している人の割合	平成17年度:24.1% 平成23年度:38.3% ※6年ごとに調査を実施するため、24~26年度の実績なし。	成果実績	%	-	-	-	
		目標値	%	-	-	-	50	
		達成度	%	-	-	-		
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込	
	8020運動推進評価委員会設置力所数 ※27年度は口腔保健推進事業に統合されたため実績なし。	活動実績	都道府県	47	47	47		
		当初見込み	都道府県	47	47	47	-	
単位当たり コスト	算出根拠		単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込	
	単位当たりコスト = X / Y X:「執行額」 Y:「補助都道府県数」	単位当たりコスト	百万円	4	4	3	-	
		計算式	X / Y	196/47	173/47	163 / 47	-	
平成27・28年度 予算内訳 (単位：百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由				
	-	-	-					
	計	0	0					

事業所管部局による点検・改善					
	項目		評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	健康な歯を保つという国民や社会のニーズに応えるものである。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	8020運動を推進を図っていくためにも、引き続き国の施策として実施すべき事業である。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	歯科口腔保健を推進するため、当事業がメニュー化されており、地域の実情に応じた優先度の高い事業を、事業展開できるようになっている。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-	-	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○	交付要綱において補助対象等を定めており、負担関係は妥当である。	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	事業計画書に必要経費を記載させ、不要な経費が計上されている場合は指摘し、コスト削減に努めている。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	各都道府県から事業計画書に必要経費を記載させ、事業目的に即したものが確認を行っている。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	-	
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか		-	-	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		-	-	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	-	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-	-	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-	-	
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)			-	
	所管府省・部局名	事業番号	事業名	-	
	-	-	-	-	
点検・改善結果	点検結果	当該事業は全都道府県で行われており、平成23年歯科疾患実態調査によると、80歳で20本以上の歯を有している人の数は増加(平成17年24.1%→平成23年38.3%)している。長期的に実施する事業のため過去3年間のみの成果を切り出して測ることはできないが、継続的に予防事業等を行うことが成果につながるため、引き続き各都道府県での実施を推進していきたい。			
	改善の方向性	口腔保健推進事業と事業目的等が共通することから、平成27年度以降は両事業を統合して「8020運動・口腔保健推進事業」として効率化を図ったが、上述の通り、前回及び前々回の調査で一定の成果も出ていることから、引き続き当該事業を推進していきたい。			
外部有識者の所見					
点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
終了予定	本事業は当初の予定通りの成果を達成したため、平成26年度をもって終了すること。なお、平成27年度以降は、事業番号024の「8020運動・口腔保健推進事業」において、当該事業を継続することとなるが、引き続き、必要な予算額を確保し、適切な予算執行に努めること。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
予定通り終了	当該事業は終了するが、得られた知見は他の事業にも活用する。				
備考					
○事業仕分け第1弾:事業番号2-23「8020運動特別推進事業」平成21年11月13日 評価結果:見直し とりまとめコメント:ワーキンググループとしての結論は、「見直し」。新政権の政策に沿って、予算規模、事業の内容、使われ方等々含めてもう一度検討していく。					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	66	平成23年度	56	平成24年度	024-16
平成25年度	004-16	平成26年度	004-16		

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	A.秋田県			E.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	委託料	8020運動推進特別事業実施にかかる委託料	4.3			
	計		4.3	計		0
	B.一般社団法人秋田県歯科医師会			F.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	需用費	消耗品費、印刷製本費	2.7			
	報償費	講師等謝金	0.5			
	旅費	講師等旅費	0.4			
	その他	会場借料、会議費昼食代	0.4			
	役務費	通信運搬費	0.3			
	計		4.3	計		0
	C.			G.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0	
D.			H.			
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)	
計		0	計		0	

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	秋田県	8020運動推進特別事業の実施	4.3	-	-
2	千葉県	8020運動推進特別事業の実施	4.3	-	-
3	東京都	8020運動推進特別事業の実施	4.3	-	-
4	福井県	8020運動推進特別事業の実施	4.3	-	-
5	長野県	8020運動推進特別事業の実施	4.3	-	-
6	愛知県	8020運動推進特別事業の実施	4.3	-	-
7	大阪府	8020運動推進特別事業の実施	4.3	-	-
8	鳥取県	8020運動推進特別事業の実施	4.3	-	-
9	福岡県	8020運動推進特別事業の実施	4.3	-	-
10	熊本県	8020運動推進特別事業の実施	4.3	-	-
11	鹿児島県	8020運動推進特別事業の実施	4.3	-	-

B

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	一般社団法人秋田県歯科医師会	歯科口腔保健推進研修会の実施	4.3	随意契約	-